

## 報告 1

### 令和4年度事業報告

#### (1)会議の開催

ア 必要に応じて、理事会及び各委員会等の会議等を開催する。

イ ガバナンス・コンプライアンス・広報マーケティング研修を実施する。

※報告資料1参照

#### (2)事業部

##### ●国内大会委員会

(主) 井上 憲俊 (副) 山本 道雄

委員 富岡 成一 伊藤 博之 宮林 浩

##### ・大会の開催

ア 第14回全日本パラ卓球選手権大会(肢体の部)

(旧:第14回国際クラス別パラ卓球選手権大会)

日時 令和4年11月19日(土)~11月20日(日)

場所 武蔵野の森総合スポーツプラザ(サブアリーナ) 東京都

参加者及びその人数

シングルス 男子145名 女子55名 合計200名(16名増)

ダブルス 男子41組 女子12組 合計53組(5組増)

混合ダブルス 23組(第14回より新設)

#### 【報告】

有観客(人数制限あり)での開催となり、久しぶりに活気のある大会となった。2023年度代表選手選考も兼ねた大事な大会でもあるため、白熱した試合が随所にあり、選手の意気込みと熱意を感じられた。

予定のタイムテーブルより、大幅に遅れ、参加選手および関係者の皆様に、ご迷惑をおかけする結果となった。今後の運営について検討する。

イ 第1回パラ卓球ダブルス大会

日程 令和4年9月23日(金・祝)

場所 パラアリーナ(東京都)

参加者及びその人数

車いすの部 15組(30名)

立位の部 10組(20名)

#### 【報告】

本年度、初めての試みとして、交流大会を開催した。台風の影響で、悪天候にもかかわらず、大分・大阪からの参加もあった。試合終了後は、交流試合(混合ダブルスなど)や、ナショナルチーム監督の技術指導も行われた。ダブルスだけではなく、シングルスなども含め、引き続き、実施できるよう検討していく。

## ウ 第43回ジャパンオープン・パラ卓球選手権大会

日 時 令和5年3月25日(土)～26日(日)

場 所 グリーンアリーナ神戸 (兵庫県)

参加者及びその人数

個人戦	男子 144 名	女子 65 名	合計 209 名
団体戦	立位(男子)10組	立位(女子)4組	
	車いす(混成)19組	立位(混成)5組	合計 38組

### 【報告】

4年ぶりに有観客(人数制限なし)での開催となり、第14回全日本パラ卓球選手権大会同様、活気のある大会となった。今大会より、個人戦は年代別(50歳以上)、団体戦は立位(混成)を新設した。今後もアンケート等を実施し、会員の皆様の声を反映できるよう検討していく。

### エ 組合せ

申込締め切り後に、確認作業・組合せを行った。

組合せ、タイムテーブルについては、開催40日前にHPへ掲載

※自宅作業・パラサポでの作業を行う。

### 【報告】

組合せの確認を委員会で行い、開催40日前にHPへの掲載に向け、作業を行ったが開催30日前となってしまった。円滑に作業を進められるよう検討する。

### ●普及委員会

(主) 白石 三重子 (副) 藤岡 明美

委員 小黒 修

### ・普及啓発活動の実施

#### ア パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in SAITAMA

日 程 令和4年6月26日(日) → 令和4年12月25日(土)変更

場 所 埼玉県障害者交流センター

参加者52名(協会登録14名・非登録17名・小中高生21名)

協 力 埼玉県卓球協会7名 埼玉県障害者スポーツ協会2名

障害者交流センター職員2名

パラ卓球協会12人

### 【報告】

佐藤泰巳選手、阿部隼万選手、渡邊剛選手、中本亨選手を中心に、埼玉県卓球協会協力の下、事業を実施。参加者層は幅広く、重度の四肢麻痺の方、脳血管障がいの方など、東京、神奈川、群馬からも多数、参加された。障がいのない参加者も多く、障がいのある・なしに関係なく、一緒に、ラリーやゲームを楽しんだ。参加者からは「パラ卓球を身近に感じ、応援したくなった」と言葉をいただいた。継続的に事業を実施し、障がいのある人とな

人の垣根を、卓球を通じてなくすこと、そして、パラ卓球のファン(応援者)を増やしていきたい。

#### イ パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in KUMAMOTO

日 程 令和4年8月6日(土)

場 所 熊本県八代市

【報告】新型コロナウイルス感染拡大のため、令和5年度に延期

#### ウ パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in HOKKAIDO

日 程 令和4年8月20日(土) 予定

場 所 北海道千歳市スポーツセンター

【報告】新型コロナウイルス感染拡大のため、令和5年度に延期

#### エ パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in OKAYAMA

日 程 令和4年10月9日(日)

場 所 岡山市障害者体育センター

参加者31名(協会登録15名・非登録6名・小中高生10名)

協 力 岡山市卓球協会6名 岡山市障害者体育センター職員1名

パラ卓球協会10人 ゲスト審判(東島さん)

※コロナ対応により人数制限有(60名)

#### 【報告】

岡山市卓球協会、岡山市障害者体育センター協力の下、事業を実施。参加者層は幅広く、地元・岡山市の特別支援学校の生徒や、卓球に興味のある肢体障がいの人、障がいのない子どもたち、高齢の方など多岐にわたった。地元・岡山のパラリンピアン・岡紀彦選手や井上全悠選手の他、別所キミエ選手、垣田斉明選手が中心となり、トークショーやエキシビジョンマッチ、ワンポイントアドバイスなどを行い、パラ卓球の魅力を伝えることが出来た。

#### オ パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in TOKYO

変更 → パラアリーナ練習会

日 程 令和4年12月中旬 予定 → 令和4年9月24日(土)

場 所 パラアリーナ 参加人数 18名

#### 【報告】

ナショナルチーム監督による、基本の大切さ、凡ミスを少なくするための方法などの講習を実施し、医科学委員会によるトレーニング指導も実施した。

車いすと立位をまぜてゲーム練習(エレベータ式)を行い、交流も含めた練習会を実施することができた。今後も継続的に実施したい。

## ●広報・マーケティング委員会

(主) 龍 信之助 (副) 坂井 一也

委員 立石イオタ良二

### ・渉外活動の推進

広報担当 新藤 遼介 丸山 裕理

※ 別紙参照 資料 2 広報マーケティング活動報告

## ●ガバナンス担当

石堂 典秀 宮林 浩

### 【報告】

適合性審査対象年度でもあり、弁護士、大学教授等の専門家と連携し、経営基盤の安定に向け検討するとともに、規程等の整備を行った。定期的にミーティングを実施し、共通理解と共通意識を持って協会運営に取り組むことが出来た。

## (3)強化部

### ●強化委員会

(主) 宮崎 義仁 (副)坂井 一也

委員 鹿島 沙奈絵 羽生 綾子 野中 直広 森蘭 美咲

新井 卓将(アドバイザー)

#### ア 強化委員会の体制

ハイパフォーマンスディレクター(強化責任者) 宮崎 義仁

ナショナルチームヘッドコーチ 羽生 綾子

ナショナルチームコーチ(立位監督) 森蘭 美咲

ナショナルチームコーチ(車いす監督) 野中 直広

情報・科学スタッフ 森田 匡則

強化担当 鹿島 沙奈絵

強化アドバイザー 新井 卓将

チームドクター 大野 洋平

心理サポート(JPC 心理スタッフ) 河津 慶太

強化スタッフ 田中 卓也 森屋 翼 楠原 懂子

#### イ 強化合宿の開催・国際大会派遣報告

※ 別紙参照 資料 3 月に 2 回程度強化委員会を実施

### ●選考委員会

(主) 石堂 典秀 (副) 大野 洋平

委員 藤岡 明美 羽生 綾子

### 【報告】

適宜、委員会を開催し、海外派遣選手およびスタッフ等の選考、規程・基準の協議・検討等

を行い、共通理解と共通意識を持って取り組むことが出来た。

#### ●医科学・クラス分け・アンチドーピング委員会

(主)大野 洋平 (副) 小黒 修

委員 伊藤 博之 池田竜士 大木 麻美 木ノ瀬 翔太 木勢 峰之 山田 哲也

#### ア 一般会員対象の事業

・国内クラス分け・トレーニング指導

#### 【報告】

・第14回全日本パラ卓球選手権大会(45名)、第43回全日本オープンパラ卓球選手権大会(32名)で対象選手にクラス分けを実施した。

・あいちトップアスリートアカデミー選考会、J-STAR プロジェクト測定会でクラス分け相談を行った。

・令和4年9月24日(東京)、10月9日(岡山)、12月25日(埼玉)にそれぞれ協会イベントの中でフィジカルトレーニング講習会を実施した。

・指導者講習会にて、健康管理やドーピング、トレーニングなどについて講義を行った。

#### イ 海外派遣選手およびスタッフ対象の事業

・健康管理・

#### 【報告】

・海外派遣選手を対象にメディカルチェックを行った。

・NT合宿および新人・次世代育成合宿で海外派遣選手対象に講義・個別指導も行った。

・リモートフィジカルトレーニング講習会(立位選手・車いす選手)を実施した。

・次世代育成合宿・新人研修、令和4年8月28日のNT合宿時に参加選手の身体機能評価を行った。

・海外派遣選手対象にアンチドーピングの講義を行った。適宜個別相談への対応も行った。

・国際クラス分けについて、サポートを行った。

・練習用車いすの購入にあたり、メーカーとの連携を行った。

#### ウ 学会発表支援・資格取得支援

・障がい者スポーツトレーナーなどの資格取得(池田先生)

#### ●アスリート委員会(令和4年度より設置)

(主) 調整中

委員 調整中

#### 【報告】

ガバナンス担当、コンプライアンス委員会、JPC アスリート委員とミーティングを行い、規程も含め設置に向け準備を迅速に行う必要がある。

#### (4) コンプライアンス委員会

(主) 高松政裕 (副) 中川義宏

委員 白石三重子 石堂典秀 神尾洋

【報告】

次年度以降の体制等について協議・検討を行い、相談等の対応、調査を行った。